

日光街道 『 草 加 宿 』

◇活 動 日 平成29年12月12日（火）

◇集 合 JR新秋津駅 9時10分

★参加人数 19名

★行き電車 新秋津（JR武蔵野線）～南越谷～新越谷駅（東武伊勢崎線）～草加駅

★コース ボランティアのガイドさん付

草加駅→八幡神社→歴史民俗資料館→東福寺→志免屋（せんべい焼き体験）→神明宮→おせん公園→松尾芭蕉像・望楼→甚左衛門堤→札場河岸→正岡子規・高浜虚子句碑→矢立橋→草加松原→百代橋（ガイド終了）

★帰り電車 独協大学駅（東武伊勢崎線）～新秋津駅（JR武蔵野線）→解散

ガイドさんの案内で出発。草加駅前に草加せんべいの伝説、おせんさんアコちゃんのブロンズがあり、おせんが焼いたからおせんべいになったとか？八幡神社には、市文化財の獅子頭雌雄一対があり見事だった。

民俗資料館で、草加は古くは海で貝の化石が発掘された低地であり洪水に悩まされたが、灌漑事業でそれは無くなったなど歴史の話を聞く。東福寺は慶長11年（1606）建立で山門、鐘楼の欄間の彫刻が素晴らしい。志免屋にて希望者のせんべい焼き体験をした。宿場風景から松並風景へ。おせん公園には自然石に「草加せんべい発祥の地碑」、札場河岸公園には松尾芭蕉像、望楼、甚左衛門堤、正岡子規・高浜虚子の句碑があり旧跡の歴史と文学を感じることができた。

松並は旧日光街道を松並木歩道と車道に区分し、矢立橋から百代橋にかけて634本（スカイツリーの高さ）の松が植えられていた。2つの橋は日本調のアーチ式で松並木をさらに引立て美しい風景を作っていた。一見の価値があった。ただ周りに高層マンションがあり、松並木の景観を損なっているのが残念との感想も聞かれた。15時頃ガイドさんに感謝して帰途についた。

